



|       | 7 月  |      |      |        | 8 月  |      |      |        |
|-------|------|------|------|--------|------|------|------|--------|
|       | 最高気温 | 最低気温 | 平均気温 | 雨量(mm) | 最高気温 | 最低気温 | 平均気温 | 雨量(mm) |
| 本年    | 30.8 | 26.1 | 28.1 | 122.0  | 32.7 | 25.6 | 29.0 | 26.5   |
| 平年    | 31.3 | 26.0 | 28.3 | 143.2  | 32.0 | 26.2 | 28.7 | 188.5  |
| 平年との差 | -0.5 | +0.1 | -0.2 | -21.2  | +0.7 | -0.6 | +0.3 | -162.0 |

(8月は8/1～8/20までの平均値・合計です)

7月開催を予定しておりました、令和 2年度喜界町糖業振興会総会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面での決議とし、令和 2年 8月 3日必着で書面表決書はすべての議案において過半数の賛成をもって可決されました。尚、生和糖業賞として令和 1年/ 2年度産さとうきび出荷において表彰された生産者は以下の通りです。

### 生和糖業賞

おめでとうございます！

| 予 約 達 成 賞                    | ト ラ ッ シ ュ 低 減 努 力 賞                      |                                                   |                                                      |
|------------------------------|------------------------------------------|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
|                              | 手 刈 部 門                                  | H V 委 託 部 門                                       | H V 受 託 部 門                                          |
| 搬入量が100トン以上で予約率が100%に近かった生産者 | 手刈収穫(HV刈以外)で、50トン以上の出荷があり、トラッシュ率の低かった生産者 | HV収穫委託者でトラッシュ率・雑草(その他率)が低かった生産者<br>(町平均 搬入量146 t) | HV受託組合で60%以上を受託し、トラッシュ率の低かった生産組合<br>(町平均 搬入量1,046 t) |
| 1位 (坂 嶺) 開 孝 行               | 1位 (池 治) 吉 岡 強                           | 1位 (荒 木) 碓 山 文 雄                                  | 1位 (佐 手 久) (株)ファーム奥田                                 |
| 2位 (志戸桶東) 梅 林 昭 一            | 2位 (荒 木) 菊 地 俊 広                         | 2位 (前金久) 南 島 孝 徳                                  | 2位 (志戸桶東) 梅 林 昭 一 HV                                 |
| 3位 (城 久) 前 川 綾 乃             | 3位 (志戸桶南) 武 利 和                          | 3位 (前金久) 上 督 操                                    | 3位 (志戸桶南) 平 田 生 産 組 合                                |

### 私のキビ作り

2017年12月、33歳、埼玉から家族5人で帰郷。ゆっくりする間もなく、製糖期が始まり、家族農業の一員として就農をスタートしました。中学卒業から島を出て約20年ぶりの圃場。ハーベスターの補助員をしながら見える景色。当時から明らかに変わったのは「AUSTOFT社」の海外製ハーベスターではなく「松元機工」のコンパクトで機能性にたけたハーベスターでした。

29/30期のさとうきびは、台風の影響などで基準糖度に満たない低糖度のさとうきびであったのが印象深かったです。

翌年の30/31期は、刈り取って見たものの単収のあがらない不作の製糖期。収量もぎりぎり1000トンを超えましたが、台風の影響を大きく受けたものでした。自然の影響を直に受け、農業の厳しさを痛感させられた年でもありました。

そんな中での昨期のR1/2期、糖度も良く、株出に関しては予約を上回り、この2年と比べると明らかに違う製糖期。農業の喜びを感じる年でもありました。

令和元年に法人設立のサポートを受け、「株式会社ファームテック喜界」として新たにスタートし、現在の全経営面積は31 ha。父、母、妻、私と4名で取り組んでいます。

さとうきび栽培のポイントとしては、植付、施肥、中耕、培土、除草剤散布、収穫と機械化一貫体系で行っており、効率化に繋がっています。また、圃場に植付けていない幅3m程の枕地スペースをとっており、大きなトラクター等での中耕、培土作業を可能にすることで作業スピードも2倍以上となっています。

施肥に関しては、ライムソーで1日300袋(6トン)ほどの散布が可能となりました。

採苗で時間、労力を使っていた植付作業ですが、ハーベスターで採苗し、その日のうちに植付けるビレットプランターでの春植を増やすことで、夏植に回さざるをえなかった面積を春植に回すことができ、収穫面積の拡大にも繋がっています。

また、圃場管理においては、クボタのスマートアグリシステム「KSAS」を使い、作業の進捗状況等携帯で確認することができ、作業状況の把握などがわかりやすく正確なものとなりました。

今後の目標としては、スマート農業を念頭にドローン、GPS等を用いてさらなる経営面積の拡大収量の増加が目指せるよう努力していきたいと思います。

さらには、高齢化、後継者不足の問題を解消できるよう、若手の独立支援型の雇用をすることで「ファームテック喜界」の経営、栽培技術を習得してもらい、喜界町のさとうきび農業を新たに作り支える存在となっていきたいと思います。



(坂嶺集落)  
株式会社ファームテック喜界  
代表取締役 岩下 雅大さん

#### ☆新人紹介☆

生和糖業原料課に新しくメンバーが増えました。

みなさん、こんにちは！

この度、生和糖業に入社致しました『岩井辰矢』(いわい たつや)です。僕は、人の顔と名前を覚えるのが苦手なので、見かけたら声をかけてもらえると嬉しいです。

これから、さとうきびの事を研究し、喜界島に貢献していきますので、応援よろしくお願いします。

お知らせ

#### 散水車について

放水距離 … 最大 約25m  
放水時間 … 最大 約10分

注意

高所作業につき、安全には十分に留意して頂きますようお願いいたします。

#### 散水車 貸出中！！

スプリンクラー未設置地域優先

(普通免許 OK) 受付順・日数制限あり  
燃料：満タン貸出・満タン返し

喜界町さとうきび生産対策協議会  
問合せ先：生和糖業(株)原料課  
☎ 65-3133



# さとうきび診断カルテ

ご自分のさとうきび作りの課題を明らかにして  
栽培管理の改善をしましょう。



## 生産力を高める土作り！



作物を育て収穫すると、それにともない土壌の養分は減っていく。  
そのため、何かの形で養分を土壌に補給しないと持続的な作物生産はできない。

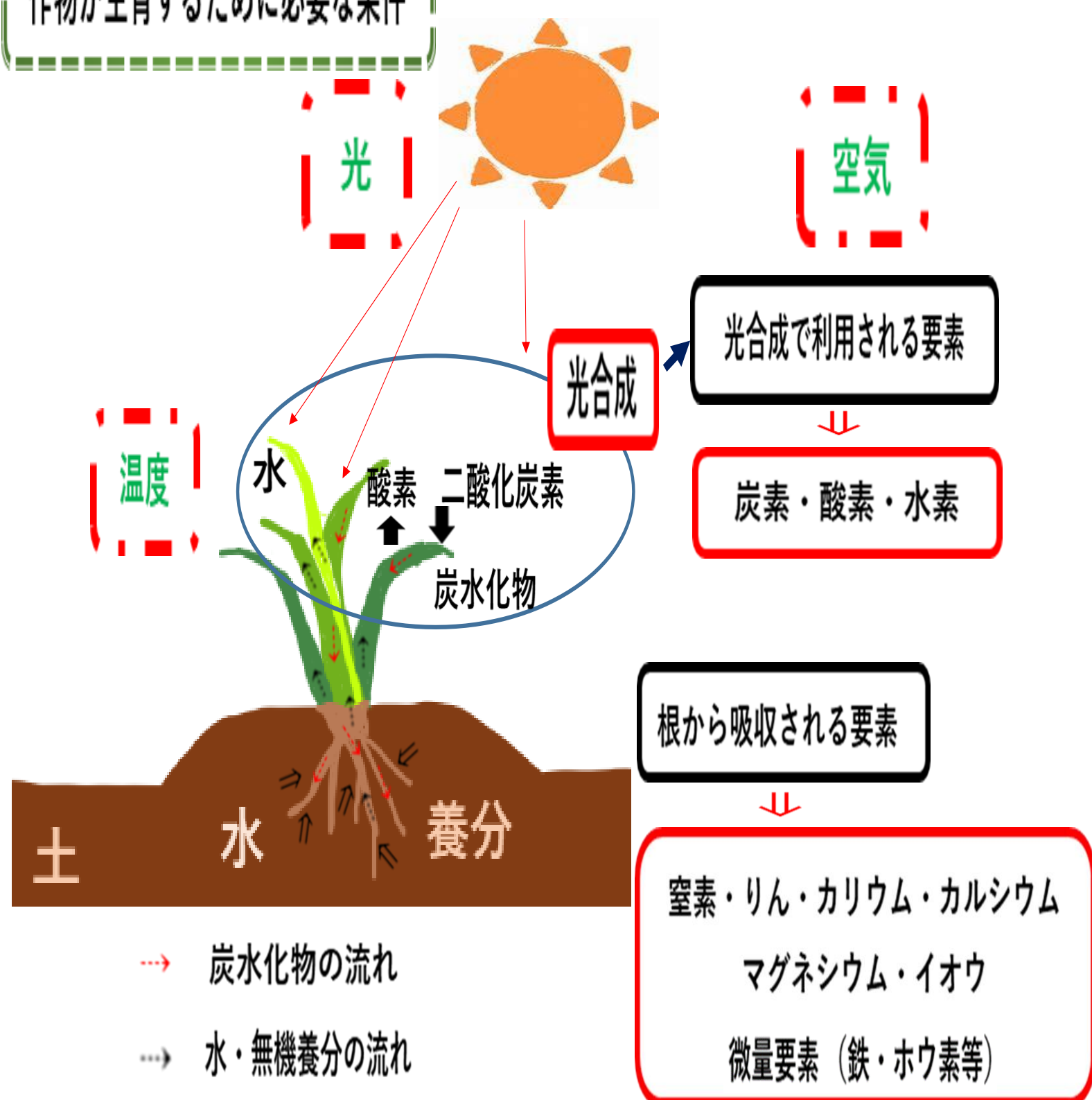


### ※土の炭素含量を増やす！

作物にとって最も重要な養分である窒素は大半が有機物の形で存在し、土の中で分解され養分となる。  
土壌の炭素含量が高いほど可給態窒素も高くなる。  
炭素含量を増やすと生産力が高まり、地球温暖化防止にもつながる。



作物が生育するために必要な条件



### ※堆肥や緑地の活用を！

炭素含量を増やすには主に二つの方法がある。  
一つは堆肥などの有機物を施用すること、一つは植物を栽培し収穫せずに土壌にすき込む緑肥である。  
生えてきた雑草を緑肥代わりにすき込む生産者もいる。

### ※生物多様性大切に！

緑肥としてマメ科作物を用いると、空気中の窒素をマメ科作物に共生する窒素固定細菌が取り込み有機態窒素に変換し、土壌中の窒素含量を高めるため、炭素含量の増加・肥料の削減・土壌流亡の低減など様々な間接的な効果が期待できる。

コロナ禍という異常事態の下で、熱中症の発症者が急増している。  
気象庁の3ヶ月予報によると、8月同様9月も全国的に猛暑で10月も高温となる見込みだ。  
消防庁の調べによると、全国で熱中症による救急搬送人員は6月1日～8月16日の間に35,317人となった。  
搬送された人の発生場所を見ると田畑なども多く、農作業中のリスクが高い事を示している。  
熱中症リスクの高い農作業は特に気を付けたい。  
くれぐれも油断や過信は禁物だ。外での作業には塩分や水分補給、体調管理で予防に努め、暑い時間帯には畑に出ない事を肝に銘じよう！

早くコロナが収束  
しますように

